

チリ

Republic of Chile

	2013年	2014年	2015年
①人口：1,800万人（2015年）			
②面積：75万6,096km ² （南極領土を除く）			
③1人当たりGDP：1万3,362米ドル （2015年）			
④実質GDP成長率（%）	4.0	1.9	2.1
⑤消費者物価上昇率（%）（12月末）	3.0	4.6	4.4
⑥失業率（%）（12月末）	5.7	6.0	5.8
⑦貿易収支（100万米ドル）	1,708	6,344	3,494
⑧経常収支（100万米ドル）	△10,311	△3,316	△4,761
⑨外貨準備高（100万米ドル）	41,094	40,447	38,643
⑩対外債務残高（グロス） （100万米ドル）	134,550	149,652	155,656
⑪為替レート（1米ドルにつき、 チリ・ペソ、期中平均）	495.3	570.4	654.1

〔注〕⑦：国際収支ベース（財のみ）〔出所〕①③～⑪：チリ中央銀行、②：国防省

2015年のチリ経済は、サービス産業や建設業ではプラスとなったものの、銅価格の下落とペソ安の進行に伴う貿易収支の悪化などから、実質GDP成長率は2.1%にとどまった。貿易（通関ベース）は輸出入ともに減少したが、主要輸出品目の銅価安により輸出額の落ち込みの方が大きく、わずかながら貿易赤字に転じた。対内直接投資は鉱業分野等の投資が大幅に減少したため、投資総額も減少したが、国・地域別では中国からの投資拡大が目立った。対日貿易でも輸出入ともに減少したが、ワインの輸出額は増加した。

銅価安とペソ安が景気に影響

チリ中央銀行（以下、中銀）によると、2015年の実質GDP成長率は2.1%であり、2014年の1.9%からわずかながら上昇した。国内需要は1.8%増となり、財貨・サービスの輸出（1.9%減）を補った。

国内需要のうち民間最終消費支出（1.5%増）については、非耐久消費財およびサービスの消費が増加（それぞれ1.5%、1.8%）し、耐久消費財支出は減少（0.6%）した。他方、国内総固定資本形成は、設備投資が8.2%減少したものの、建設は1.9%増だったため、1.5%減にとどまった。なお、建設がプラスとなったのは、2016年1月1日からの税改正をふまえた駆け込み需要が影響している。

産業別でみると、主要産業である鉱業は0.2%減だったものの、情報（7.8%増）、農林業（5.6%増）など他の主要産業でプラスとなった。

2014年に引き続き、銅価格の下落により鉱業は不振

に陥った。銅価安の主因は中国の成長鈍化であるが、ロンドン金属取引所の1ポンド当たりの銅価格は2015年1月に2ドル63セントであったところ、2016年1月には1ドル95セントを記録、前年比25.9%の下落となった。

水産業もふるわず、3.2%減となった。主要産品であるサケの単位重量あたりの価格が下落し、水揚げ高も減少した。

プラスとなった産業の中では、法人向けサービス（1.9%増）、個人向けサービス（2.8%増）の寄与が大きい。農林業は、ワイン用ぶどう、乾燥果実、キウイ、かんきつ類など果実の生産増加により、5.6%増となった。

銅価格の下落と米国の利上げ観測を受けたドル高ペソ安の進行は景気の足を引っ張った。2014年の期中平均は1ドル=570.4ペソだったところ、2015年は1ドル=654.1ペソとなった。2016年1月には一時730ペソ台にまで到達した。国内で資本財、耐久消費財の産業集積が少ないチリでは、通貨安はそれらの財の調達および販売コスト上昇につながる。

表1 チリの需要項目別実質GDP成長率

（単位：%）

	2014年	2015年				2016年 Q1	
		Q1	Q2	Q3	Q4		
実質GDP成長率	1.9	2.1	2.7	2.1	2.2	1.3	2.0
民間最終消費支出	2.4	1.5	2.2	1.2	1.3	1.1	1.6
政府最終消費支出	5.1	5.8	4.5	5.6	7.8	4.9	5.4
国内総固定資本形成	△4.2	△1.5	△3.3	△5.5	4.3	△1.3	1.2
財貨・サービスの輸出	1.1	△1.9	1.1	△6.2	△1.4	△0.9	2.4
財貨・サービスの輸入	△5.7	△2.8	△4.1	△7.3	1.7	△1.8	△3.0

〔注〕四半期の伸び率は前年同期比。

〔出所〕チリ中央銀行

主要品目の輸出が軒並み減少

中銀の貿易統計（通関ベース）によると、2015年の貿易は、輸出額が前年比17.8%減の622億3,300万ドル、輸入額も13.4%減の625億1,700万ドルとなり、2年ぶりに貿易赤字に転じた。

輸出額減少の主な要因は、輸出の約半分を占める銅の価格下落である。鉱産物は全体では前

表2 チリの主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位: 100万ドル、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2014年		2015年		2014年		2015年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
農林水産物	5,722	5,216	8.4	△8.8	1,113	1,063	1.7	△4.5
果物	4,859	4,547	7.3	△6.4	158	155	0.2	△1.8
鉱産物	42,205	33,335	53.6	△21.0	7,859	4,087	6.5	△48.0
銅・鉄	38,238	30,308	48.7	△20.7	-	-	-	-
石炭・石油・天然ガス	-	-	-	-	6,951	3,620	5.8	△47.9
工業製品	27,747	23,681	38.1	△14.7	63,187	57,367	91.8	△9.2
加工食品類・飲料・アルコール類・たばこ	11,713	10,368	16.7	△11.5	5,267	4,886	7.8	△7.2
繊維・衣類・革製品	649	562	0.9	△13.4	4,918	4,518	7.2	△8.1
木材・木製家具	2,536	2,278	3.7	△10.2	746	687	1.1	△7.9
セルロース・製紙	3,523	3,142	5.0	△10.8	1,099	1,040	1.7	△5.4
基礎化学製品・石油派生品・ゴム・プラスチック	3,796	3,215	5.2	△15.3	18,999	15,523	24.8	△18.3
鉄・鉄鋼、非鉄基礎産業	2,132	1,545	2.5	△27.5	2,177	2,139	3.4	△1.7
金属製品・機械・機器類、電気機器類、輸送機器	3,151	2,375	3.8	△24.6	28,070	26,792	42.9	△4.6
その他	0.6	0.7	0.0	16.7	-	-	-	-
総額	75,675	62,233	100.0	△17.8	72,159	62,517	100.0	△13.4

[出所] チリ中央銀行

表3 チリの主要国・地域別輸出入<通関ベース>

(単位: 100万ドル、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2014年		2015年		2014年		2015年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
アジア大洋州	38,142	31,323	50.3	△17.9	23,586	22,751	36.4	△3.5
日本	7,532	5,308	8.5	△29.5	2,322	2,085	3.3	△10.2
中国	18,438	16,340	26.3	△11.4	15,096	14,604	23.4	△3.3
韓国	4,691	4,047	6.5	△13.7	2,307	2,005	3.2	△13.1
インド	2,640	1,941	3.1	△26.5	662	717	1.1	8.3
欧州	12,977	9,734	15.6	△25.0	11,125	10,436	16.7	△6.2
EU28	10,912	8,215	13.2	△24.7	10,402	9,719	15.5	△6.6
ドイツ	951	797	1.3	△16.2	2,615	2,379	3.8	△9.0
スペイン	1,421	1,313	2.1	△7.6	1,450	1,536	2.5	5.9
米州	23,826	20,543	33.0	△13.8	34,316	27,444	43.9	△20.0
米国	9,275	8,155	13.1	△12.1	14,257	11,757	18.8	△17.5
メルコスール (ACE 35)	5,748	4,536	7.3	△21.1	9,480	8,285	13.3	△12.6
ブラジル	4,073	3,076	4.9	△24.5	5,679	4,859	7.8	△14.4
アルゼンチン	963	806	1.3	△16.3	2,916	2,519	4.0	△13.6
太平洋同盟	4,056	3,938	6.3	△2.9	5,111	4,033	6.5	△21.1
メキシコ	1,305	1,339	2.2	2.6	2,439	2,141	3.4	△12.2
ペルー	1,849	1,594	2.6	△13.8	1,541	1,099	1.8	△28.7
合計 (その他含む)	75,675	62,232	100.0	△17.8	72,159	62,517	100.0	△13.4

[注] メルコスール (ACE 35) は、ブラジル、アルゼンチン、パラグアイ、ウルグアイ。太平洋同盟はメキシコ、コロンビア、ペルー、チリ。

[出所] チリ中央銀行

年比21.0%減の333億3,500万ドルと大幅に落ち込んだ。陰極銅の輸出額は20.9%減となった。また、サケの輸出額は13.8%減少した。いずれも輸出量は増えているものの、単位重量当たりの輸出価格が下落したことが輸出額に影響した。

輸出を主要国・地域別にみると、国別首位の中国が163億4,000万ドルで前年比11.4%減、以下米国 (81億5,500万ドル、12.1%減)、日本 (53億800万ドル、29.5%減) となり、上位3カ国の順位の変動はなかったが、いずれも輸出額は大きく減少した。中国向けの輸出品で特に減少額が大きかったのは精製銅 (8億3,700万ドル) と鉄鉱 (4億3,000万ドル) でそれぞれ30.7%と47.7%減

少し、中国経済の成長鈍化により同国市場における金属需要が落ち込んだことを如実に表している。米国向け輸出で減少が大きかったのは陰極銅で18.6%減少し、18億7,300万ドルとなった。中南米諸国の中で最大の輸出相手国となっているブラジル向け輸出額も、同国の景気後退が影響し、輸出額は24.5%減少した。主要輸出先で唯一前年比増となったメキシコは、銅鉱の輸出が伸びた (4.6倍、5,100万ドル) ことで2.6%増となった。

■資源安の影響で輸入も2桁減

輸入は前年比13.4%減となったが、特に石油 (21億5,700万ドル、50.4%減) やディーゼル油 (26億2,600万ドル、36.2%減) などの燃料輸入額が資源安の恩恵で大幅減となった。消費財では自動車 (1500cc超、3000cc以下) が16億5,700万ドルと前年比10.9%減を記録した。国内の自動車販売が前年比16.4%減の28万2,232台と不振であったことが輸入減につながった。チリ全国自動車産業協会 (以下、ANAC) は、ドルに対するペソ安の急速な進行や銅価格下落に伴う経済成長率の鈍化による雇用不安が消費者の

購買力・購買意欲をそいだことを販売台数減少の要因として挙げている。

輸入を主要国・地域別にみると、中国 (146億400万ドル、前年比3.3%減)、米国 (117億5,700万ドル、17.5%減)、ブラジル (48億5,900万ドル、14.4%減) と前年から上位3カ国に変化はなかったが、輸入額は軒並み減少した。輸出入共に最大の貿易相手国である中国は、主要輸出品目の携帯電話、尿素などは増加したが、ノートパソコンなどその他品目の減少が響いて結果的に3.3%減となった。なお、中国からの輸入品目において発電機は前年比2.6倍と急増した。これはアントファガスタ州のソラルコネホ (Solar Conejo) と呼ばれるメガソー

ラプロジェクトが背景にある。米国とブラジルからの輸入は石油価格の下落により、輸入品目首位の石油の輸入額がそれぞれ41.9%、30.9%減少した。上位国の中では、スペインからの輸入が5.9%の伸びをみせた。輸入額増加に貢献しているのは、前年比2.3倍となった発電機である。これもメガソーラープロジェクト用である。

■中国の投資拡大は大型案件による特殊要因

中銀によると、2015年の対内直接投資額（国際収支ベース、ネット、フロー）は、前年比8.4%減の204億5,700万ドルであった。一方、チリ対内投資促進庁（APIE）によると、外国投資規定（DL）600号に基づき、税制など優遇措置を受ける500万ドル以上の投資に関しては、前年比77.1%減の27億1,800万ドル（実行ベース）で、過去5年で最も少ない結果となった。商品価格の下落や新興国経済の成長の減速による世界経済の不況により、鉱業分野を中心にした大規模な直接投資案件が減少し、少規模な投資が多かった。国別にみると、スペインが5億7,000万ドルで1位、次いで米国の4億4,000万ドル、3位がメキシコの3億200万ドルの順となった。主要国からの投資額が落ち込む中、中国からの投資額は前年比439倍（1億8,400万ドル）と大幅に増加した。主な投資事例としては、中国建設銀行のチリ代理店への1億8,000万ドルの出資が挙げられる。中国建設銀行は5月の李克強首相のチリ訪問の際に締結された二国間通貨スワップ協定により、人民元決済銀行に指定された。

業種別では電気・ガス・水道が8億6,700万ドルで

表4 チリの国・地域別対内直接投資
＜実行ベース、外国投資規定(DL)600号によるもののみ＞
(単位：1,000ドル、%)

	2014年		2015年		1974～2015 年累計 金額
	金額	金額	構成比	伸び率	
アジア大洋州	714,798	469,256	17.3	△34.4	15,907,706
日本	563,076	266,815	9.8	△52.6	10,532,218
中国	420	184,356	6.8	43,794.3	301,049
オーストラリア	134,533	17,949	0.7	△86.7	4,611,744
欧州	4,588,377	995,000	36.6	△78.3	40,988,740
EU28	3,971,859	993,259	36.5	△75.0	37,930,110
スペイン	3,401,894	570,557	21.0	△83.2	21,904,690
英国	544,001	179,602	6.6	△67.0	7,741,671
オランダ	-	173,646	6.4	-	1,809,618
米州	6,583,074	1,253,868	46.1	△81.0	57,130,757
米国	5,206,141	439,721	16.2	△91.6	29,447,858
カナダ	1,018,590	216,297	8.0	△78.8	19,112,745
メキシコ	10,910	302,180	11.1	2,669.8	2,132,594
コロンビア	8,847	295,670	10.9	3,242.0	1,574,349
合計(その他含む)	11,886,249	2,718,124	100.0	△77.1	114,543,882

〔注〕 全て、2015年12月31日現在の暫定値。実行ベース統計には、外国投資規定（DL）600号で定められた全ての投資方法が含まれる。

〔出所〕 チリ対内投資促進庁（APIE）

表5 チリの業種別対内直接投資
＜実行ベース、外国投資規定(DL)600号によるもののみ＞
(単位：1,000ドル、%)

	2014年		2015年		1974～2015 年累計 金額
	金額	金額	構成比	伸び率	
農業	9,000	29,200	1.1	224.4	431,376
林業	35,174	1,981	0.1	△94.4	611,273
漁業・養殖	-	-	-	-	319,226
鉱業	1,793,022	553,397	20.4	△69.1	37,713,165
製造業	3,583,222	501,755	18.5	△86.0	14,913,668
食品	10,972	35,959	1.3	227.7	3,649,806
木材・製紙	-	-	-	-	1,321,600
化学	3,566,000	452,546	16.6	△87.3	7,630,114
その他	6,250	13,250	0.5	112.0	2,312,148
電気・ガス・水道	3,403,342	866,860	31.9	△74.5	20,664,360
建設	175,410	1,500	0.1	△99.1	1,639,353
商業	2,140,669	382,777	14.1	△82.1	7,624,058
輸送・倉庫	283	59,732	2.2	21,006.7	3,182,452
通信	71,000	7,400	0.3	△89.6	7,886,263
金融サービス*1	243,270	211,377	7.8	△13.1	11,275,667
保険	329,637	89,559	3.3	△72.8	4,944,657
法人向けサービス	96,742	9,527	0.4	△90.2	1,386,820
衛生・同関連サービス	-	3,024	0.1	-	525,668
その他サービス*2	5,478	35	0.0	△99.4	1,425,876
全部門	11,886,249	2,718,124	100.0	△77.1	114,543,882

〔注〕 全て、2015年12月31日現在の暫定値。実行ベース統計には、外資投資規定（DL）600号で定められた全ての投資方法が含まれる。

*1 銀行、投資企業、その他の金融サービス

*2 旅行業、不動産、社会関連サービス、医療関連、レクリエーション・文化サービス、その他のサービス

〔出所〕 チリ対内投資促進庁（APIE）

31.9%を占めており、最多ではあるが昨年比74.5%減となっている。電気・ガス・水道部門の具体的な事例としては、スペインのガス・ナトゥラル・フェノーサ・インテルナシオナルによる、チリのガス配給大手・メトロガスの株式8.33%の取得（5億3,900万ドル）やコロンビアのメデジン市公益事業会社によるインフラ企業・EPMチリへの出資（2億6,200万ドル）などがある。次いで構成比が高い業種は鉱業であるが、銅価格の下落により大型の投資案件も少なく、前年比69.1%減と大幅に落ち込んだ。

なお、対内直接投資に関する中核機関である外国投資委員会が2016年1月21日より対内投資促進庁（経済・促進・観光省管轄）に変わった。同庁は大統領が定める投資誘致に関する戦略に基づき、海外事務所の設置や広報の強化、さらには地方政府との連携で投資誘致活動を展開することになる。

■銅価格下落が対日輸出減に影響

中銀によると、2015年の対日輸出額は53億800万ドル、輸入額は20億8,500万ドルであった。前年に引き続き、チリにとって日本は、中国、米国に続いて第3位の輸出先であるが、輸出額は前年比29.5%減となった。輸

表6 チリの対内直接投資事例 (2015年)

(単位: 1,000ドル)

業種	企業名	国籍	投資額	概要
電気・ガス・水道	ガス・ナトゥラル・フェノーサ・インテルナシオナル	スペイン	539,083	ガス・ナトゥラル・フェノーサ・チリへの出資により、メトログスの株式8.33%取得。
化学	Prodair Corporation	米国	278,900	Inversiones Air Products Holdings Limitadaへの出資により、インドウラの株式30%取得。
商業	フェムサ・コメルシオ	メキシコ	264,172	CCF Sudamerica SpAへの出資により、ソコファル(クルス・ベルデ)の株式60%取得。
電気・ガス・水道	メデジン市公益事業会社	コロンビア	261,959	EPM Chile S.A.への出資により、アグアス・デ・アントファガスタの株式取得。
銀行	中国建設銀行	中国	180,000	中国建設銀行チリ代理店への出資。
化学	チコ・インベスト	オランダ	173,646	ユニリーバ・チリ SCCへの出資。
鉱業	住友金属鉱山	日本	140,175	チリ住友金属鉱山(シエラ・ゴルダ銅鉱山開発プロジェクト)への出資。
商業	ウォルマート・ラテンアメリカ	米国	118,250	ウォルマート・チリへの出資。
鉱業	クアドラ FNX チリ	カナダ	99,000	クアドラ FNX ホールディングス・チリ(シエラ・ゴルダ銅鉱山開発プロジェクト)への出資。
保険	IHI ダンマーク A/S	英国	89,559	グルーボ・ブパ・サニタス・チレ・ウノへの出資によりアランティス不動産所有のブパ・チレ株式17.35%の取得。
鉱業	丸紅ロス・ベランプレス・インベストメント B.V.	日本	77,057	アントコヤ鉱山への出資。
鉱業	住友商事	日本	47,115	インベルシオネス SC シエラ・ゴルダへの出資。
鉱業	双日	日本	1,300	双日ロス・アンデス鉱山への出資。
鉱業サービス	JX 日鉱日石金属	日本	667	バイオシグマへの出資。
鉱業	パンパシフィック・カッパー [注]	日本	500	パンパシフィック・カッパー・エクスプロレーション・チリへの出資。

[注] JX 日鉱日石金属と三井金属鉱業が共同出資。

[出所] チリ対内投資促進庁 (APIE)、各社発表および報道などから作成

出額の減少は銅価格の下落によるところが大きく、銅鉱の輸出額は36.3%減少した。一方、赤ワイン、白ワインの輸出額は横ばいであったが、発泡性ワインは前年比28.7%増となった。日本の財務省貿易統計によると、2015年に日本が輸入したボトルワインの中では、量(5,159万リットル)でチリはフランスを抜き初めて1位になった。

輸入額は前年比10.2%減となったが、チリにとって日本は前年同様、7位の輸入相手国である。輸入品目をみると、国内の自動車販売台数の減少により、乗用車(1500cc超、3000cc以下)の輸入額の減少(6.5%減)が目立つ。軽油は前年比4.2倍の2億6,900万ドルと大幅に増加したが、米国からの輸入減少分を日本と韓国が補うかたちとなった。

対内投資促進庁 (APIE) によると、日本からの対内直接投資 (DL600号に基づくもの) は前年比52.6%減の2億6,700万ドルとなった。前年に続き、これまで大型案件が多かった鉱業分野での新規案件への投資がなかったことが投資減少の背景にある。鉱業分野以外では、人材派遣会社のアウトソーシングがチリ企業5社の発行済み株式を取得し、子会社化した。

二国間関係では、2015年10月に租税条約が実質合意され、2016年1月に署名が行われた。発効は両国の国会で承認された後となるが、租税条約が発効すれば、税制改革により段階的に引き上げられる法人税の税負担率は現状と変わらず、非居住者対象の追加税と合わせ35%が上限となる。

表7 チリの対日主要品目別輸出

(単位: 1,000ドル、%)

	輸出 (FOB)			
	2014年		2015年	
	金額	金額	構成比	前年比
銅鉱 (精鉱を含む)	4,432,919	2,822,139	53.2	△36.3
太平洋サケ (冷凍、頭・はらわた抜き)	474,237	454,280	8.6	△4.2
モリブデン精鉱(焼いたもの)	341,408	200,291	3.8	△41.3
木材チップ (グロビュラス種のユーカリ)	243,270	199,751	3.8	△17.9
トラウト (冷凍、フィレ)	251,533	176,831	3.3	△29.7
陰極銅およびその切断片	182,365	140,293	2.6	△23.1
豚肉 (冷凍、骨なし)	124,451	89,991	1.7	△27.7
鉄鉱 (ペレット)	92,876	63,924	1.2	△31.2
化学木材パルプ (さらしたもの、針葉樹)	64,551	55,806	1.1	△13.5
銀を主成分とするスラグ、灰および残留物	25,646	53,219	1.0	107.5
その他	1,298,503	1,051,083	19.8	△19.1
合計	7,531,759	5,307,608	100.0	△29.5
	輸入 (CIF)			
	2014年		2015年	
	金額	金額	構成比	前年比
乗用車(1500cc超、3000cc以下)	636,517	594,895	28.5	△6.5
軽油、ディーゼル油	63,923	268,664	12.9	320.3
タイヤ (建設・産業用車、直径61cm超)	160,163	134,711	6.5	△15.9
乗用車(1000cc超、1500cc以下)	90,027	84,630	4.1	△6.0
シャシー(2トン超のトラック用)	68,201	64,287	3.1	△5.7
乗用車(3000cc超)	65,808	63,139	3.0	△4.1
鉄のフラットロール製品 (厚さ3mm未満)	35,834	42,209	2.0	17.8
硫酸	31,603	25,394	1.2	△19.6
掘削機	22,503	25,317	1.2	12.5
貨物自動車 (最大積載量2000kg超)	27,337	22,491	1.1	△17.7
その他	1,119,939	758,764	36.4	△32.2
合計	2,321,855	2,084,501	100.0	△10.2

[出所] チリ中央銀行資料から作成